

2009年12月11日

報道ご関係者各位

～小学生が社長になってぼうし屋さんの経営を体験～
第4回「マニユライフCAPS(キャップス)経営コンテスト」
緊迫した大熱戦を展開
京都から参加の6年生、4年生混成チームがみごと優勝

一般社団法人ジュニア・アチーブメント日本
社会福祉法人中央共同募金会
マニユライフ生命保険株式会社

一般社団法人ジュニア・アチーブメント日本(本部:東京都港区、理事長 椎名武雄)主催、社会福祉法人中央共同募金会(会長 斎藤 十郎)協力、マニユライフ生命保険株式会社(本社:東京都調布市、社長兼CEOクレイグ・ブロムリー)特別協賛による第4回「マニユライフCAPS経営コンテスト」の決勝戦が、12月6日(日)、マニユライフ生命保険の本社において開催されました。

同コンテストでは、子ども達は仮想の帽子屋さんの経営に取り組みます。小学4年生～6年生の子ども達だけのチームでの話し合いにより、ぼうしの値段、仕入れ数、宣伝広告費等を決め、売上げ増大をはかり、最終的には累計利益で業績を競い合います。このプログラムの真の目的は、チームでの話し合いを通じて、子ども達に、実社会の経済の働きやお金を得ることの難しさ、楽しさを実習する機会を提供するとともに、意思決定力、他人と違う意見を述べる勇気、自分と違う意見に耳を傾ける寛容性、リーダーシップ、チームワークなど、今後生きていく上で必要となる資質の重要性を実感してもらうことにあります。

東京、京都、名古屋で開催された今回の地区予選には合計126人の児童が参加し、それぞれの地区で好業績をあげた8チーム(1チーム4名)32名が、マニユライフ生命本社で開催された決勝戦に臨みました。

決勝戦は、過去のコンテスト参加者の児童の姿も見かけられ、全チームにおいて集中した議論が最後まで続く緊張感のあるものになりました。レベルの高い、子ども達の話し合い、意思決定を反映して、競技進展につれ、累計利益で競われる各チームの順位も変動を重ね、最終段階で、それまで業績が伸び悩んでいたチームが一気に上位にくい込むなど、最後まで気の抜けない展開となりました。そうした中、最終セッションでも期間最高利益を上げた京都から参加の6年生、4年生混成チーム(チーム名「JRISETAN」、メンバー構成:6年生2名、4年生2名)が、接戦を制して見事優勝を飾りました。同チームのメンバーは、「意見が分かれることもあったけど、理由を言って皆で納得して決めた」、「在庫を増やしすぎないように仕入れ数を決めた」と、優勝に導いたチーム戦略を語っています。

競技終了後には表彰式が行われ、中央共同募金会の本田章博常務理事、マニユライフ生命の森田均常務執行役員からの健闘をねぎらう言葉とともに、表彰状が子ども達に手渡されました。

約2時間に及んだコンテスト終了後は、参加した子ども達それぞれが、「大変だったけれども、楽しかった」、「来年も是非参加したい」などと、満足そうに話していました。



話し合いに熱が入る子ども達



6年生と4年生各2人の優勝チーム



参加者全員で記念撮影

「マニユライフCAPSコンテスト」決勝戦概要

- ◆主催およびプログラム提供／一般社団法人ジュニア・アチーブメント日本
- ◆特別協賛／マニユライフ生命保険株式会社
- ◆協力／社会福祉法人中央共同募金会
- ◆開催日時／2009年12月6日（日）
- ◆会場／マニユライフ生命保険株式会社本社
- ◆決勝戦参加児童

関東4チーム 16名（男子14名、女子2名：小学4年生8名、小学5年生6名、小学6年生2名）

関西3チーム 12名（男子6名、女子6名：小学4年生4名、小学5年生4名、小学6年生4名）

東海1チーム 4名（男子2名、女子2名：小学6年生4名）

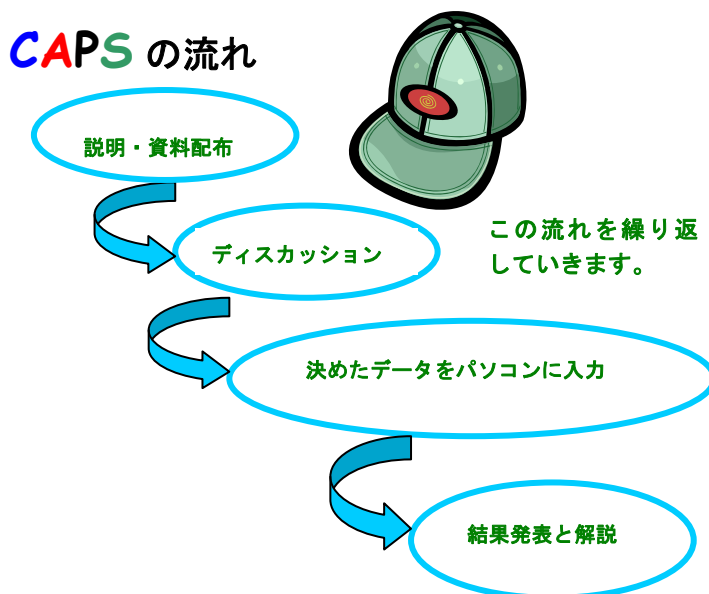
『CAPS』プログラムについて

CAPSは、世界最大の民間の非営利経済教育団体、ジュニア・アチーブメント(JA)が小学校高学年から中学生向けに開発した経営シミュレーション・プログラムです。

CAPSでは、チームメンバーがディスカッションしながら、ぼうしの値段、仕入れ数、宣伝広告費、ぼうしにしゅうを入れるのにどの機械をレンタルするかなどを決めて、パソコンに入力します。全チームの入力が済むと、各チームの業績が出され、それをもとにまた次期の戦略を決め、またその業績が出されるという実習を繰り返していきます。

なお、この「CAPS」プログラムは、学校の授業での使用を前提に、マニユライフ生命の特別協賛により学校向けに無償提供されるものです。本来の目的は、参加した子ども達に、実社会の経済の働きやお金を得ることの難しさ、楽しさを実習する機会を提供するとともに、意思決定力、他人と違う意見を述べる勇氣、自分と違う意見に耳を傾ける寛容性、リーダーシップ、チームワークなど、今後生きていく上で必要となる資質の重要性を実感してもらうことにあります。

ジュニア・アチーブメント日本では、『マニユライフCAPS経営コンテスト』開催を契機に、さらに本プログラムの普及促進を図っていく考えです。



ジュニア・アチーブメントについて

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。

社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質（主体的に社会に適応できる力）を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト www.ja-japan.org をご参照ください。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界22ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよびアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2009年9月30日現在4,365億カナダドル（4,071億米ドル）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（www.manulife.com）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（www.manulife.co.jp）

中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。